

実務・研修等実施経歴書

記入上の注意

1. 本会ホームページよりフォーマット（Wordのファイル）をダウンロードして印刷したものに黒のボールペンで記入するかまたはWordで記入後に印刷して下さい。
2. 数字は算用数字で記入して下さい。
3. 実務・経歴等の種別、分野、単位は「協議会 CPD の評価基準」の記号及び単位を記入して下さい。
4. 申請年月日以前5年間の実務・研修等の経歴を記入して下さい。
5. 証明者は職場の上司、取引先、加入団体の代表者等とし、証明者は自署、押印して下さい。（公印であれば自署でなくても可）

建築設備士試験 合格証書番号 又は受講証書番号		0000-00000		実務経験年数 25年 6月	
建築設備士 CPD 登録番号		0000-00000			
ふりがな		せつび たろう		生年月日	
氏名		設備 太郎		西暦 0000年 0月 0日	
連絡先	勤務先	勤務先名/所属 〇〇設備事務所			
		住所 〒000-0000 〇〇県〇〇市〇〇-〇〇			
		電話番号 00-0000-0000		FAX 00-0000-0000	
	自宅	住所 〒000-0000 〇〇県〇〇市〇〇-〇〇			
		電話 00-0000-0000		FAX 00-0000-0000	
E-Mail		setubitarou@abc.ne.jp			

実務・研修等の経歴・単位

種別	分野	実施期間		この期間における実務・研修等の内容	回数又は 年数 N	単位 P	単位計 N×P
		年月～年月					
4-1	B-4	00.4	05.3	設計実務	5	15	75
1-1	B-4	00.4	05.3	共通仕様書・標準仕様書講習会（6時間）	2	6	12
1-1	B-4	02.9		省エネルギー講習会（5時間）	1	5	5
1-1	B-2	03.8		消防設備士更新講習（5時間）	1	5	5
1-1	B-1	04.9		〇〇学会講習会（5時間）	1	5	5
1-2	B-4	00.4	05.3	メーカー見学・研修会（4時間）	30	4	120
1-3	B-4	00.4	05.3	企業内研修（3時間 1回/年）	5	3	15
2-3	B-4	00.4	05.3	協会〇〇委員会（4回/年）	20	1	20
3-1	B-4	00.4	05.3	専門誌講読（10冊）	10	2	20

単位合計 277

証明者記入欄	上記の通りであることを証明します。		西暦 0000年 0月 0日	
	勤務先または加入団体名	〇〇県設備設計協会	所属・役職	会長
	所在地	〇〇県〇〇市〇〇〇〇	電話	000-000-0000
	証明者氏名	△△ △△ 印	申請者との関係	加入団体代表者

専門書講読レポート

1 冊目 『建築設備と配管工事 Vol.39 NO.5』

学習内容「特集大温度差空調システム」

- ・大温度差によるダイレクト空調システム
- ・ガス吸収式大温度差空調システム
- ・低温冷風空調システムのリニューアルへの実施例紹介
- ・氷蓄熱式大温度差空調システムへの取り組み
- ・FCUとAHUにおける大温度差

修得事項

- ・大温度差空調システムの概要・機器の特徴・施工に関する注意事項等。

2 冊目 『建築設備と配管工事 Vol39 NO.5』

学習内容「特集デシカント空調システム」

- ・熱のカスケード利用末端を担うデシカント空調
- ・デシカント空調機の背景と適用
- ・MGT排熱駆動型新デシカント空調機
- ・デシカント空調機の適用事例
- ・ハニカム吸湿式除湿ローターSSCR

修得事項

- ・デシカント空調システムの概要。
- ・設計完了物件へのデシカント空調システム採用の検討

(中略)

10 冊目 『建築設備士 2004.10』

学習内容「特集 気になる建築設備事術の最新動向」

- ・特集にあたって
- ・LEDの技術開発動向と事例
- ・厨房排気脱臭装置
- ・CO₂冷媒冷凍機
- ・水蒸気圧縮による省エネルギー蒸発脱水技術
- ・マルチエアコン屋外機2枚プロペラファンの開発
- ・三重効用吸収式冷凍機の開発
- ・置換厨房換気システム
- ・水力エネルギー回収システム
- ・アンモニア冷媒冷凍機
- ・新排水システム
- ・PHSを利用した省エネ型ビル制御システム

修得事項

- ・最新技術の修得及びCO₂削減対策への効果の考察を行う。